

英語2

科目ナンバー 0A112
総合基礎 必修 1単位

須賀 晴美

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は総合基礎科目の学修目標1、2、3に関連した科目です。

この授業は、コミュニケーションに必要な、英文法を意識しながら授業を展開していきます。

初めに教科書の学修をします。内容はダイアログの聴き取りに始まり、聴き取りのコツ、ダイアログを使ったペア・ワーク、与えられた英文の理解を問う問題、リーディング上達に役立つ文法のポイント、その文法を使った英作文、英文に関する意見を述べる練習と進んでいきます。

次に、読解力(文字によるコミュニケーションの能力)を確実に高めるため、インターネットの多読サイトを利用して、英語の電子書籍を授業中と授業以外に読む作業をします。この作業をすることで、順調な語彙力の増強、読解スピードの向上を目指します。この多読の課題では、受講生はアクティブに興味のある本を選び、各自に合ったスピードで学習者用の電子書籍(e-book)を読みます。1冊読み終わるごとに、英語の小問(Quiz)に答えてもらいます。

2. 授業の到達目標

これまでに学んだ英語を土台として、英語力を総合的に向上させることを目標とします。

具体的には以下のことを到達目標にします。

1. 『新JACET8000』の3000語レベルの語彙で書かれた英文を読んで理解することができる。
2. 英語らしい音変化を含みながらも、ゆっくり発音された会話や文章を聞き取ることができる。
3. 自分の興味・関心にあった、ほどよい難易度の本を選び、各週授業中30分、授業外30分以上の多読を継続的に行うことができる。
4. e-bookを1冊読み終わるごとに、内容理解を問う5つの英語の質問に答えることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末試験(40%)、読み取り語数・内容理解のクイズ(30%)、本の紹介の英作文(8%)、読解速度の向上(4%)、VELCテスト(10%)、Book Report・授業への参加の度合(8%)

- ・期末テストのテスト範囲は、教科書から70%、初見の英文を読み取る応用問題が30%で出題します。
- ・読み取り語数はウェブの多読サイトに記録されていきます。
- ・Book Report(読書の記録)を提出してもらいます。
[欠席した時は、次週に休んだ分を提出すれば、一回分の点数を失いません。ただし、評価はAではなくB⁺が最高となります。]
- ・自分が推薦する本の紹介を英語で作文してもらいます。
- ・Book Reportと本の紹介文は評価してLMSで返却・フィードバックします。
- ・VELCテスト(英語力診断テスト)を受験した人には10%の点が与えられます。
- ・授業への参加の度合は、予習がしてあり指名時に答えられるか、多読の作業に真剣に取り組んでいるかなどを評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

1) テキスト

『AMBITIONS Elementary』

著者:熊澤 孝昭、静 哲人、望月 正道

出版社:金星堂 (¥1,900 +Tax)

ISBN:978-4-7647-4054-9 C1082

5. 準備学修の内容

[教科書の予習]

1. リスニング問題の中に分からない単語があれば、意味を辞書で調べておきましょう。(5~10分)
2. 教科書の音声で自分のパソコンやスマートフォンにダウンロードし、それを聴いてListening Focusまで問題を解いてみます。(15分)
3. Find Outの英文を読みます。その際分からない表現は、Notesを見たり、辞書で調べたりしながら意味を取っていきます。(25分)
4. Check the Pointsの音声を聴き、正しい選択肢を選び、本文の内容と合っているかどうかを答えます。(5~10分)
5. Practice Moreの部分英作文をします。もし英語に直らない単語があれば和英辞典で調べておきます。(5~10分)
6. Say What You Thinkで自分の意見に近いものを選んでおきます。(5分)

[教科書の復習]

1. 間違った問題に関しては、正解を出せるように練習します。(10~20分)
(Check the DetailsとPractice Moreの答が覚えにくい場合には、つづりまで正しく覚えられるよう、紙に書いて練習するのをおすすめします。)
2. Check the Detailsのダイアログは滑らかに読めるように練習します。(5~10分)
3. Find Outの英文はダウンロードした音声を聴いて、そのスピードで意味が分かるかどうか、練習しても良いでしょう。(10分)

[電子書籍の多読をする準備学修]

1. 自分にあった難易度で、興味の持てる本を多読サイトから選び、授業外に総計30分以上読書をします。(30分以上)
[時間配分は15分を2セット行ってもよく、組み合わせを工夫してください。]
2. 復習として、LMSで返却されたBook Reportや英作文のコメントを読みます。(5分)

6. その他履修上の注意事項

- ・毎回の授業には必ず英和辞書・和英辞書(紙の辞書・電子辞書どちらでも可)を持参してください。(ただし留学生の人は、英語を母語に、そして母語を英語になおせる辞書が好ましいです。)
- ・多読サイトは英語の音声も聞けるため、イヤフォンを持参してください。
- ・多読サイトの見られるタブレットは学校のを貸し出します。(ただし、学校のタブレットより自分の使い慣れたタブレットやパソコンが良いという人は、それを教室に持ち込んでください。)
- ・パソコン画面で目が疲れやすい人は、ブルーライトカットの眼鏡を用意してください。
- ・課題の返却については授業でも通知しますが、LMSを定期的にチェックしてください。

様々なアクティビティを体験して、あなたの英語力が上がることを期待しています。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(授業の進め方、準備学修、評価方法など)、夏休み中の体験などを書く
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第2回】 Unit 9. Japanese Culture (比較を理解する [同等比較・比較級・最上級])
電子書籍の多読、クイズに答える
Book Report作成
- 【第3回】 Unit 9. Japanese Culture (The Ninja: Fact vs. Myth)
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第4回】 Unit 10. Human rights ()のまとめ
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第5回】 Unit 9-10のまとめ
電子書籍の多読、クイズに答える
Book Report作成
- 【第6回】 Unit 11. Health & Medical Issues (名詞を限定していることを見抜く [関係代名詞])
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第7回】 Unit 12. Environmental Issues (and がつなぐものを見抜く [並列 1])
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第8回】 お薦めの本の紹介文の原稿作成
Unit 11-12のまとめ
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第9回】 本の紹介文提出
Unit 13. Economy & Industry (but や or がつなぐものを見抜く [並列 2])
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第10回】 Unit 14. Legal Issues (文脈に合った意味を選ぶ [多義語])
電子書籍の多読、クイズに答える
Book Report作成
- 【第11回】 Unit 13-14のまとめ
電子書籍の多読、クイズに答える
- 【第12回】 期末テストのガイダンス
Unit 15. Science & Technology (知らない単語の意味を推測する)
電子書籍の多読、クイズに答える
授業評価アンケート
- 【第13回】 電子書籍の多読、クイズに答える
読解速度測定
Unit 9-15のまとめ
リーディングに関するアンケート②
- 【第14回】 期末試験、まとめ
- 【第15回】 VELCテスト